

安全にお使いいただくために

アンプの電流制限に達することを避けてください

高精電容量または低誘導性の負荷への使用を避けてください。オームの法則 $V = I \cdot Z$ から使用する入力周波数とご使用のアンプの最大電流仕様に応じて、負荷の最小インダクタンスまたは最大容量を決定してください。

また、入力電圧に合わせて機器設定を切り換えないと、機器が損傷し、保証が無効になることがあります。

※出力端子を短絡しないでください。

アンプの出力は必ず負荷に接続してください。

アンプを使用する際は、出力が負荷に接続されていることを確認してください。アンプ出力に同軸ケーブルのみを接続した場合、誘導負荷として働き、アンプを損傷する可能性があります。

正しい電源ライン設定を確認してください

入力電源の電圧がリアパネルの電圧セレクタスイッチで指定されている電圧と同じであることを常に確認してください。

電源投入中は被測定回路に触れないでください。

安全性を最大限に高めるため、テスト中の回路に電源が供給されている間は、製品、テストケーブル、またはその他の機器の部品に触れないでください。ケーブルやジャンパーを接続する前に、テストシステム全体の電源を切断してください。テスト中の回路または電源ライン（アース）のグラウンドから電流経路を提供する可能性のある物に触れないでください。傷害または死に至る恐れのある致命的な電圧にさらされる可能性があります。機器を取り扱う際には、手を常に乾燥させておいてください。

筐体グラウンドから信号を浮かせないでください

アンプの入力と出力に接続されている信号は、コネクタの外殻を介して接地されています。筐体のグラウンドから信号を浮かせないでください。入力源に損傷を与える可能性があります。入力グラウンドと出力グラウンドは接続されているため、出力グラウンドを入力グラウンドと異なるレベルに接続することは絶対に禁じられています。